会員インタビュー

岡本 和子 DC アドバイザー

金融リテラシー向上を目指して講師業にまい進

Q 現在のお仕事と DC アドバイザーの資格をどのように役立てていますか？

私は現在、講師を職としております。講師の内容についてはファイナンシャルプランナーや宅地建物取引士といった資格取得講師と共に企業型確定拠出年金のセミナー講師を活動の 3 分の 1 の割合で行っております。
DC セミナーは西日本（沖縄や四国、大阪など）年間 50 回近く登壇しています。金融知識ゼロから 2 級 FP、CFP、DC アドバイザー資格を取得し、保険代理店時代の経験を活かし、多くの人に金融リテラシーを伝える活動を始めました。
「かつての自分のように金融に不安を持つ人たちの助けになりたい」――その思いが、現在の講師活動につながっています。
ファイナンシャルプランナーの資格だけでなく、DC アドバイザーの資格があることで、「より専門知識を身につけた講師」と企業様にも安心感を与えていると思います。

Q トランプショックと受講者対応

株価の急落に対して多くの心配の声がありましたが、私は一貫して「上がり続けるものはなく、下がり続けるものもない」と伝えています。歴史的にも暴落と回復の繰り返しがある中、投資に必要なのは「長期・継続・分散投資」の考えです。急な売買よりも、リスク許容度に応じたアセットアロケーションを心がけるべきだと伝えています。
大事なことは、右往左往しない。右往左往する方が買い急ぎ、売り急いで実損が生じるのです。
今の相場が下がっても売却しなければそれは「含み損」にしかすぎません。利益も同じで売却し利益確定しなければ「含み益」。すべて幻です。

Q ご自身の資産運用で、暴落時に心がけていることは？

暴落時に急に動くことは難しいし、いきなり動くことは期待とは逆の効果を生むことも多いと思います。
大事なことは
・自分のリスク許容度を知る
・資産運用の 3 大セオリー（長期投資、継続投資、分散投資）を心がけ実践することです。

―自分の「リスク許容度」に合わせる

運用をする場合、全財産を投資に充ててしまい家計に不測のことがあれば下落したときに売却し実損を生みます。自身の家計の中から余剰資金で運用を行う。余剰資金というのは現に貯蓄されている資金だけでなく、毎月の給与の中からも、無理はしないが少し負荷が

かかる程度です。そして、リスク許容度に合わせてアセットアロケーションを考えます。リスク許容度の低い方は、いくら「景気は回復する」といってもトランプショックは心臓に悪いので、債券の比率の高い運用を行うなどです。また株や投資信託の利益だけではなく為替による影響も考えます。

―長期投資

投資をする目的を明確にし、いつまでにどれくらいの資産をこの目的のための運用に充てられるかを考え、複利効果を活かす。そして目的別のゴールに利益がでればよいということです。確定拠出年金は受取開始が 60 歳からですが、2022 年から 75 歳までの受取開始を選択することができるようになりました。言い換えれば 60 歳で株価が暴落していても 75 歳までの 15 年間回復を待つ時間の余裕ができたということになります。

―継続投資

ドルコスト平均法です。トランプショックで暴落したときも継続投資で考えれば、「平均購入単価が下がった＝利益を生みやすくなった」と考えることができます。

―分散投資

資産運用には表と裏があります。株が下がれば債券は上がる。為替は円と外貨のシーソーです。円高ならドル安。円安ならドル高。表ばかりを見て下落を嘆くのではなく、裏からみて値上がりするものを分けて持つことが安定的な運用には必要です。

どうしても投資を行うと目先の株価に目が行きがちですが、投資と投機は違います。

大事なことは目的をもって運用を行い、そのために最適な制度（NISA,DC など）を活用することです。

Q 今後の活動への意気込みと DC 制度への期待をお聞かせください。

セミナー実施後は「もっと早く知っていれば良かった」という声をよくいただきます。私は学歴も特別な経歴もありませんが、35 歳でシングルマザーになり FP 資格を取得し、今があります。これからも分かりやすいセミナーで多くの方に金融知識を届けたいと思っています。制度面では、iDeCo や他の企業年金制度との一元管理、そして継続教育の義務化に期待しています。

Q DC協会へのご要望があればお聞かせください。

是非、DC 協会でイベントや交流会、勉強会を実施していただきたいと思います。

現在もセミナーなどを主催していただいておりますが、もう少し平易な交流から会員の情報交換の場があればと思います。

私が DC 講師として今あるのは、DC 協会の勉強会で先輩講師の方とお話をできたことです。どうやれば講師としての活躍の場が拓けるか。また日々のセミナーや企業担当の疑問や悩みなどを話せる場がリアルであれば、より一層の DC アドバイザーの地位と認知の向上となると感じております。

（2025 年 6 月 16 日実施）

岡本 和子 おかもと かずこ

一級ファイナンシャルプランニング技能士
CFP®（CERTIFIED FINANCIAL PLANNER®）
マンション管理士/管理業務主任者
宅地建物取引士/賃貸不動産経営管理士
DC（確定拠出年金）アドバイザー
トータルライフコンサルタント